

世界史B

1 目標・使用教科書等

学習の到達目標	1. 世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国を含む諸地域世界の歴史と関連づけながら理解し、それらの知識を基礎として歴史的思考力を培う。 2. 歴史の学習を通して、客観的で公正なものを見方を身につける。 3. 広い視野から歴史を考察し、現代社会が直面する課題について考える。
使用教科書・副教材等	『詳説世界史B』山川出版社 『ニューステージ世界史詳覧』浜島書店 『世界史B用語集』山川出版社 『詳説世界史研究ノート』山川出版社

2 学習指導計画及び評価方法等

月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい
4月	第7章 諸地域世界の交流 1 陸と海のネットワーク 2 海の道の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸アジア諸民族の活動がユーラシア諸地域世界の交流と再編に果たした役割を理解する。 ・16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域世界で社会の成熟期を迎えたことを理解する。
5月	第8章 アジア諸地域の繁栄 1 東アジア・東南アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国興隆と衰退	<ul style="list-style-type: none"> ・この時期の日本の動向が、東アジア世界の中で位置づけられることを考察する。 ・イスラーム帝国では非ムスリムに対して寛容な統治を行ったことを理解する。
6月	第9章 近代ヨーロッパの成立 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 主権国家体制の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代を契機に、ユーラシア規模から地球規模の交流に拡大したことを理解する。 ・16世紀から18世紀のヨーロッパで、主権国家体制が築かれたことを理解する。 ・大西洋世界に西ヨーロッパを中心とする国際分業体制が形成されたことを理解する。
7月	第10章 ヨーロッパ主権国家体制の展開 1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 3 17～18世紀のヨーロッパ文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国の国家体制について考察し、重商主義の名のもとに海外進出をした経過および影響について理解させる。
8月	第11章 欧米における近代社会の成長 1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス産業革命の世界的背景やその展開を通して資本主義の確立を理解させる。 ・ヨーロッパとアメリカの革命が相互に関連して進展したことを理解させる。
9月	第12章 欧米における近代国民国家の発展 1 ウィーン体制 2 ヨーロッパの再編 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米の文化	<ul style="list-style-type: none"> ・自由主義、国民主義が進展し19世紀後半にはドイツ・イタリアなどで国民国家形成が促されたことを理解させる。 ・アメリカ合衆国における西部開拓、南北戦争に至る状況とその後の発展について人種問題を含めて理解させる。
10月	第13章 アジア諸地域の動揺 1 オスマン帝国支配の動揺とアラブのめざめ 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの変動	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの進出に対するオスマン、ムガル、清、日本などアジア諸国の動揺と改革から、19世紀のアジアとヨーロッパの関係を総合的に理解させる。
11月 12月 1月	復習	問題演習を通して大学入試に対応する学力と思考力を養う。

3 評価方法

定期考査 提出課題及び提出状況 学習活動への積極的参加